

## 剣道段位(四・五段)審査会における学科の回答作成にあたって

一般財団法人 長野県剣道連盟

### 1 学科審査の設問

〔四段〕「剣道の理念」をふまえたあなたの剣道修行について述べなさい。(400字～800字以内)

〔五段〕「剣道指導者としての心構え」についてあなたの考えを述べなさい。(400字～800字以内)

### 2 学科審査の実施要領及び作成について

#### (1) 学科審査の実施目的と留意点について

- ・学科審査の回答(小論文)は、全剣連出版の参考文献(下記)より理論的な内容をふまえた上で、受審者自身がこれまでの修行を振り返り、自身の具体的な修行の様子や状況について、理論的に整理することを目的としており、修行の方向性に対して審査・判断するものです。

○幼少年剣道指導要領 ○剣道講習会資料 ○剣道社会体育教本

○剣道称号・段位審査規則、同細則 ○剣道試合・審判規則、同細則 ○日本剣道形解説書

- ・学科審査で「可」と判断される回答を作成するために、受審者自身の具体的な実践から「なぜするのか」という意味づけをもち、出題の主旨(剣道の理念、剣道指導者としての心構え)に照らし合わせて回答することを求めています。
- ・学科審査で「否」と判断されるものは、出題用語に関する解説的な記述のみで具体的実践の見えないものや、逆に自説や経験則のみに偏り根拠があいまいな記述の場合です。
- ・以下の事例に当てはまるものの引用・転記については、著作権の侵害に相当する場合は審査の対象としません。

- ① 全剣連制定文書「剣道の理念」「剣道指導の心得」等の原文のみの回答
- ② 過去の審査会に提出された小論文
- ③ 他者が作成した小論文
- ④ 書籍やインターネット上で模範解答として示された小論文

#### (2) 回答(小論文)の作成方法について

- ・通常の小論文は、「問題提起 意見 論拠 結論」といった流れで構成されることが一般的ですが、本連盟の学科審査にあたっては、回答字数が限られているため、「はじめ→なか→おわり(まとめ)」といった構成で回答することが望ましく、以下の構成内容を参考に作成してください。

#### ◆「はじめ」の内容について

##### <四・五段共通>

- 回答の書き出しは、自身の現在の稽古状況・環境を簡潔に示した内容から始めてください。
- 通常の稽古を想定して記述したり、コロナ禍での状況下を想定して記述した場合のどちらでも問題ありません。受審者が判断して記述してください。
- 団体名等は具体的に書く必要はありません。

例) 以下のような書き出しを参考に作成してみてください。(参考例と同じでなくてよい)

- ◇現在、私は所属している剣友会の週2回の稽古の中で、一般の方との稽古を中心に修行を続けている。その中で……
- ◇私は剣友会に所属し、小学生から一般までの幅広い方々と週三回稽古をしている。稽古で大切にしているのは……
- ◇現在、私は中学校の教員としての職に就いており、剣道部の顧問として毎日生徒と共に稽古に励んでいる。毎日の稽古で心がけているのは……
- ◇私は大学の剣道部に所属し、ほぼ毎日稽古を継続している。稽古で大切に考えて……
- ◇私は月二回の支部の稽古会や一人稽古に励んでいる。……

## ◆「なか」の内容について

### <四段>

- 全剣連制定「剣道の理念」について

剣道人としての生涯学習の目的を示すものです。原文に対する知識的理解は、修行者の段階（段位）に応じた解釈や実践があると考えます。したがって、回答には、自身の具体的な修行実践を通じて述べるようにしましょう。長野県剣道連盟では、「剣道の理念」が示す「剣の理法の修練」を、「一足一刀」「一拍子の打突」の修練という視点をもって修行するよう、講習会、研修会等で指導、普及を図っています。したがって四段の回答には、「一足一刀」「一拍子の打突」の視点に沿った回答を作成しましょう。

### <五段>

- 設問の「剣道指導者として」という意味について

一般的な所属団体の指導者という立場だけでなく、普段の稽古においても段位の上位者と下位者との関係性の中にも、「指導者」としての要素は含まれており、指導者としての資質もそうした中で磨かれていくような稽古を奨励しています。段位がお相手より上位であれば、誰もが指導者となり得るという自覚をもち、回答もそのような立場から作成することもできます。

- 全剣連制定「剣道指導の心構え」について

指導者は、「竹刀の本意」「礼法」「生涯剣道」の三つの視点を押さえて稽古することが大切です。五段の回答としては、この三つの視点の原文をそのまま記述しただけであったり、原文解説のみに終始することがないようにしましょう。また、理想とする指導理念や自説や経験則に頼った記述にならないよう、現在の修行を三つの視点から、指導対象に合わせた全剣連の方向性に沿った具体的な実践の様子を挙げて作成しましょう。

### <四・五段共通>

- 剣道では心や意志の問題が重要視されますが、考え方や精神論だけの論説にならないようにしましょう。

## ◆「おわり(まとめ)」の内容について

### <四・五段共通>

- 「なか」で述べた自身の実践と全剣連がめざす「剣道の理念」「剣道指導の心構え」との整合性にふれて述べましょう。

## 3 その他

- ・本資料は、事前講習会の講習資料として準備したものですのでご活用ください。
- ・審査に関すること、今後の稽古に関することなど、受審や日々の稽古で心配な点や悩んでいることがあれば、個別に対応いたします。長野県剣道連盟段位審査委員会へお問い合わせください。（連絡先は事務局へ）